未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２４・２・９

校長室通信　　No. ４０

４年生が「アイマスク体験」を行いました!!

４年生は福祉体験学習ということで、２月６日（火）の３・４限に「アイマスク体験」を行いました。当日は、「ボランティアグループのうらしまさん」・「校区福祉委員会の方々」・「保護者の方々」にお越しいただき、ご指導いただきました。お世話になり、本当にありがとうございました。

梅が丘小学校の先生たちは、みんなに「お年寄りや障がいのある方々をはじめ、すべての人に温かい気持ちで接することのできる、優しい人になってほしい」という願いを持っています。

そのためにも 「人間は一人ひとりがみんな違っていてあたりまえであり、違っていることは、 とてもすばらしいことであること」、そしてまた、「性格や体格、好きなもの、年齢など、いろいろなことが違っても 、自分を大切にしてもらいたい気持ち、自分を認めてほしい気持ちは、 すべての人が持っていること」など 、人との違いを尊重する気持ちを、しっかり持ってほしいと思っています。

様々な機会を通して、梅が丘小学校のみんなが、「温かく、優しい人間」として成長していってくれることを、心から願っています。

アイマスク体験の当日は、「ボランティアグループのうらしまさん」・「校区福祉委員会の方々」・「保護者の方々」、あわせて22名の方々にお越しいただき、ご指導いただきました。寒い中、そしてまた、お忙しい中、お世話になり、本当にありがとうございました。

体育館の中では、２人１組になって、一人がアイマスクをつけ、もう１人が誘導する立場になり、歩く練習等を行いました。また、円陣になって全員がアイマスクを付け、動くと鈴の音がするボールの受け渡しをするゲームを行ったりもしました。

さらに、２人１組で、体育館や校舎内を歩きました。相手の腕へのたずさえ方など、どのように補助すれば良いのか等についても学びました。

階段の上り下りや、段差によって高さが違う場所などは、すごく恐くて、おそるおそる・・・・でした。

教室の自分の席に座るのも、一苦労でした。アイマスクをつけたまま、字を書くことも体験しました。また、白杖（はくじょう）をまっすぐ立てている方がいれば、それはSOSのシグナルであり、「何かお手伝いできることはありませんか。」等、勇気を出して声かけを行う大切さについても、教えていただきました。